

# 大阪の教育

大阪教師会

〒596-0814  
大阪府岸和田市岡山町  
443-13  
電話 090 (7363) 9544  
振替口座 00910-9-1433

## 「問題解決的な道德授業」で

子どもは、主体的・協働性・深い学びの姿へ

中曾 邦輔

今回の報告は299号の続きの後半の実践報告である。

新学習指導要領に沿った指導で効果が確実に出了た報告です。

今回は、子どもの振り返りの文章と教師の評価文を割愛することなく記載しました。紙面の都合で全児童の紹介が出来ないことお詫び申します。

『教材名…ひとふみ十年』

ねらい…自然愛護

児童の振り返り文①

ぼくは幼稚園のころに近所のお兄さんから、病気の亀をもらったことがあります。そのことは亀が死んじゃってから、始めて聞きました。普通の亀とは、ちょっと違うような気がしていました。病気の亀が死んじゃうといつもより切なくなっていました。大自然の中で生きることがこれだけでもすごいことなのだと、この経験をして感じました。

教師のコメント

とてもすてきなけんをしましたね。大人でもなかなか君のような経験がない人が多いですね。これについても思い出して大切にしていね。

児童の振り返り文②

自然で感動(すごい)と思ったことは、細かくて、小さいのに台風とか来ても折れていないのが感動した。チングルマも小さいし、おおくなるのに10年もかかるのにすごいと思いました。

教師のコメント

自然をみて、感動する、すごいと思える。友谷さんに感動している、その「心」いつまでも大切にしていね。きっと人、物、自然があなたを大切にしてくれることでしょう。

児童の振り返り文③

私はチングルマを見たことはないし、マッチ棒の太さになるのは10年かかるのを知らなかったけど、そのことを知った今は、自然を大切にしようと思います。

教師のコメント

「自然を大切にしようと思います」とても良いですね。しかし、これからどのように自分として、自然を大切にしていくなのか、聞かせてほしいね。

『教材名…くずれ落ちただんボール』

ねらい…親切・思いやり

児童の振り返り文①

本当の人助けは、相手がやってもらうてうれしく思い、自らやるものだと思います。「やってあげる」や「何かちょうだい」などは人助けではないと思います。そう思うと本当の人助けはなかなかむずかしいことだと思います。見返りを求めると周囲の人に嫌われる気がする。

教師のコメント

人助けは、あなたが書いているように、なかなかむずかしいね。(勇気がいるね) 親切の見返りを求めることは周囲の人によくないね。

児童の振り返り文②

親切は思いやりやさしさなどが合体したような心(?) だとは思っているけど、まあそんな感じとは思っている。私なら店員にいいかんじしています。なぜなら、私たちがだん

ボールをくずしたと勝手に決められてもこまるし、そういう人たち、ちよう腹が立つ。

教師のコメント

いいところに気がついてたね。そこであなたには、「親切と思いやり」について合体して考えたいね。「はらが立つ」も、あなたがいう「合体と合わせて考えていくといいね。」

児童の振り返り文③

私が親切と思う本当の人助けは、助けるだけでなく、言葉もしつかり言わないといけないと思います。そして、本当の親切とは、相手に感謝される人であることだと思っています。これまで、こんなことを考えたことがなかったの、よかったです。これからは人助けをたくさんしたいと思っています。

教師のコメント

あなたの考え方の、みちすじは、なかなかのものです。このような考え方でこどもにつけたのかな。最後に「たくさんの人を助けたい」と書いていますね。すごいぞ!!

『教材名…天から送られた手紙』

ねらい…努力・不撓不屈

児童の振り返り文①

中谷さんがどうしてここまで続けられたかという、雪の結晶を初めて見たとき、雪の結晶がきれいで誰かに見せたいというきもちがあつたからじゃないかと思いました。私も中

谷さんみたいな何か一つに没頭して、誰かのためにできるような人になりたいと思います。私は、没頭してUFOキャッチャーを頑張っています。今でも、とれるように研究しているけど、これからも中谷さんみたいなあきらめないで、がんばれる人になれるように、がんばりたいです。

教師のコメント

きれいな、美しいものには、人を引きつける力があるのですね。あなたは何かに没頭して、誰かのためにできるように、というのは最高!!、美しいですね。UFO楽しんでですね。

### 児童の振り返り文②

ぼくはこの話を読んで、努力は必ず報われるということを実感しました。ぼくも何事もあきらめずにさいごまでやろうと思いました。ぼくは、努力は報われるということを信じて子どもから大人になろうと思いました。

教師のコメント

素晴らしいね。あなたの思いがあつてうれしいです。この「心」をいつまでも忘れないようにして、こつこつ頑張ってくださいね。

### 児童の振り返り文③

中谷さんが研究を頑張ったのは、結晶のことが好きだったからだと思います。中谷さんは、一回決めたことを何十年も続けたことと思うから、すごいと思いました。私なら、すぐ

にあきらめたいと思います。

教師のコメント

何事も「好き」になることでしょ。昔の人は「好きこそもののじょうずなれ」とよく言っていましたよ。あなたは、「わたしならあきらめると思います」と書いてありましたね。そんな時もあるかな?

### 「教材名」かぜの「でんわ」

#### 児童の振り返り文①

私だったら毎日電話に話しかけると思います。理由は、あまりにもさびしい日が続くと思うからです。こうやって、かぜの電話があるのとても良いことだと思います。思いを伝える唯一のきかいだと思えます。かぜの電話は少しでも家族を亡くした人の気持ちをやらわけるのにいい。

教師のコメント

あなたの考えと実行することのよさが書かれていますね。人間には「心」「気持ち」が大切ですからね。家族の気持ちをやらわけるね。これからは、目に見えないものにも大切なことがあることを考えてみてくださいね。

### 児童の振り返り文②

電話をしにくる人たちは、会いたいや声だけでも聞かせてと言う人が電話しに来て、思いを伝えてきたからなくなった人の分の星が出たのだと思いました。亡くなった人たちは、もう生き返ることはできないか

ら、そのぶん生きていた人たちが伝えられることを風の電話で伝えている。

教師のコメント

星になる。生きている人、亡くなった人への思いや「・・・」のように生きます」という夢や願いを伝えて、安心・努力などすることなんてしようね。すてきな振り返りですね。

### 児童の振り返り文③

死んでしまった人でも、心は伝わることを知りました。

分かっている心は、つながっているんだ  
続けよう

教師のコメント

一年間の振り返りを書いてくれてありがとう。先生はあなたの文章を読んでかしくなりました。素晴らしい時ができましたね。あなたの「心」の広さ、清らかさ伝わってきますよ。いつまでもあなたの「心」を持ち続けてね。

以上は、子どものノートと教師のコメントの一部分である。

なぜ振り返りなのか、振り返りには、教材に出てくる人、物、状況と再度向き合わせることで、自己の見方や考え方が深まり、認識から意識へと繋がり実行ある子へ価値転移を促すものである。

「かぜのでんわ」の教材に関する学習では、子ども哲学にまで思考できていることを感心させられる。

年間35時間学習することによって、それらが日常生活にも反映されている場面も多々ある。例えば、4年生までは問題児とレッテルを貼られていた子が普通の子になったり、4年生まで不登校気味の子どもが、登校するようになった、学級でのいざこざを自分たちで解決するようになった。また他教科においても問題解決的な学習方法を取り入れて展開しているの対話発言が多くなった。特に理科などでは、学習問題が決まると。予想段階では過去の経験をもとに論じ合えるようになったり、実験方法においても主体的に道具を揃え、実験し、結論を出して考察まで議論しまとめが出来るようになった。

他教科の授業においても発言の少ない子供も発表ができるようになった。

週一の道徳が楽しい。何を言っても友達が聞いてくれる。いろいろな考え方があふれる。答が色々あるのが楽しいなどの感想が聞こえてくる。

### 子どものノートを観る必然性

教師は誰でもどの子どもも楽しい学校生活を送って欲しいと願って指導している。また教師と子どもの信頼関係を作りたいたいと考えている。その一つの方法としてノートや授業中の言動を評価し、更なる意欲を引き出そうとしている。その一つのノートを観る視点として次のようなことを心掛けている。

○素早く書きノートを返却すること  
でしよう。時間が経つと効果は半

減する。

○子どもの能力を引き出す教師の言葉（授業中のこと・ノートのこと）  
・小さな言葉を採し（ねらいに関する事柄など）  
・良いところを発見し褒める（認める・応援する・喜ばせる・ねぎらうなど）

・心の報酬（成長の実感、貢献の実感、対話・課題発見・多様性等）  
・具体的には、「頑張ってるね」「ありがとう」「早く出来ているね」「もうできたんだ」など。  
・「よくやってるよ」

・「またひとつ課題をクリアしたね」「すごいね」「さすが」「素晴らしい」「最高!!」「あなたらしい」  
・「期待している」「うれしいな」「ここにある」

・「先生が、あなたに教えられるわ。ありがとう」

・「実行を期待していますよ」  
授業の最後には、ほめことばでおわる。

## 教育風鈴

教師と生徒の漫才

赤司 久明

教師が言う「国語（何でも同じ）」をしっかりとやれよ——生徒「はい、しっかりとやります!」職員室で明治時代からズツと続いている漫才である。何の意味もない。

生徒「古文がどうもよく分からないので」「この生徒ノそれなりに必死の訴えに対して、阿呆教師は「気合い

が足りないんだ!気合いが!」と言う。これで給料がもらえるのだから教師ほど楽な商売はない。

個人教授を一つ

何処が何が分からないのか、最低、生徒に聞くべき。単語が分からないのか、熟語が分からないのか、文法か、読めないのか、文の意味か文章の意味か、文学史か……。それさえ分からないから教師のところに來ているのだ。まず文章を読ませる。音読させる。音読させるだけで大体分かる。次、女子短大の入試問題をやらせる。全くの基本問題。大抵の生徒は怒る。男子だったら「僕は女子短大など受けませんよ!」とわめく。私「満点取れたとれたら、少し難しいのをやろう。」とやらせる。まず半分も出来ない。「女子短大の問題で、半分も出来ないなら、来年一年浪人してもあかん」とはつきり言う。評価の出来ない教師は駄目。入試問題は文法で受験生を落とす。例えば左記の問題

桜咲けば の訳

1 桜が咲いたら

2 桜が咲くと

3 桜が咲く時は

正解は2。純粹の文法問題なのだ。

気合いなんか関係ない。女子短大の問題でもボロボロとわかつて生徒は初めて真面目になる。家に持って帰ってやらせる。3回連続で満点を取れたら、普通の大学の入試問題に移る。ランクの低い大学の問題は今度はするすると出来る。「文法が分かたら、即できる問題が多いな」と

実感している。次に中位の四年制の大学、基本単語の訳をきっちり聞いてくれる。例  
ゆかしき人 の訳

1 ゆかしい感じの人

2 会いたい人

3 教養のある人

正解は2。「基本単語600」を渡して、「しっかりと覚えてこい、特に熟語を」と言う。

中位ランクの大学を超えるのが大変。関関同立クラスは夏休み前から来てくれないと難しい。早稲田・上智クラスは「基本単語800」が要る。それと文章の読解力。上中下の三段階の生徒のやる気と学力にに応じて、伸ばし方を工夫する。一律の教え方では効果が上がり難い。生徒のやる気にどれ位応えられるか、給料分働きたいな。天罰が怖い。

教材（素材）の教材化を!

中曾 邦輔

最近小学校でも、学級崩壊・指導困難学級などが起きている。そこで担任をせずに専門の生徒指導主事が設置されています。毎朝の職員朝礼で、不審者が出た、〇〇のことで保護者から××の申し出が出た、朝の会で◇◇の事について指導してください等が言われます。また主席という役職も設定されています。主席の仕事は、教頭の補助とか新任指導・月間行事の調整など、そのために、主席の仕事の軽減のために、講師（週10時間）を採用している。この講師は家庭科・書道の指導を行っている。

更に学力向上ということで、少人数指導（クラスを二分の一に分ける）特に算数に限って授業を行っている。それも片方は講師でまかなっている。これで真の学力向上に繋がるのでしょうか。

地域によつては、五、六年生の、国語科の専科制を行っている。担当の先生は国語の免許を持っているわけでもない。働き方改革で勤務時間の軽減対策ということで行っているようです。

学級指導とか教科指導が難しいのは、まず考えなければならぬことは、教師の指導力ではないだろうか。即ち教材研究です。教材を教材化するために自分なりに、ねらいを考え、学習指導要領を観て、児童の実態を考慮して再度教材研究を行って、授業に臨むことが大切です。

例えば発問一つでも、全員が応えられるだろうか、興味関心を持つだろうか、更に賛成や反対意見が出て拮抗するだろうか考える事が大事です。

私がよく見かける授業では、大体教師の求めている答え（正解）しか発表しない。従って、発表する子どもは限られている。教師はそこで、〇〇さんの意見が良いですかと念を押す。子どもは、『はい』または黙っているようです。学級全体から見ると少人数で授業が進行しているようです。なぜそのようになっているのだろうかとよく見ると、教師用指導書（俗に言う朱刷り）を見て授業を行っているのです。

朱刷りには、『問い』の言い方まで書いてあります。さらに子どもへの反  
応、答まで三つぐらい書いてあるの  
です。それが出れば次の問いに進ん  
でいくと言った授業風景です。

そこで教師自身の教材に対する思  
いや考えがないのです。子どもたち  
が話し合いながら答を導き出す、公  
約数としての正解を求めない事では  
ないでしょうか。

しんどい子どもたちや正解が思い  
つかない子どもは、しんどいです。

新学習指導要領が求めている子ども  
も像は、主體的な学び・対話的（協  
働的）な学び、深い学び、考え、議  
論する子どもであり、授業なのです。

昔からよく言われたことは、教科書  
『を』教えるのではなく、教科書  
『で』教える事なのです。ところが  
最近見かける授業は、教科書『を』教  
えている授業です。そのために子ども  
たちは興味・関心が薄い。それは  
多くの子どもたちは塾や通信教育で  
学校より早く既知既習になっている  
のです。その事を考慮して教材研究  
を行い、授業をしないと子どもたちは  
落ち着かないでしょう。また、教室  
から離れていくでしょう。

大阪教師会の近況報告

大阪教師会は少人数です。そこで  
兵庫の赤司先生に参加していただい  
ています。それぞれ都合があるので  
すが万難を排して参加していただい  
ています。

会場費節約のため喫茶店でコピー

一杯で二時間研修をしています。  
研修内容は小学校低学年の道徳の  
授業案作りのためにいろいろ話し合っ  
ています。結論は出ませんが、小学  
生の心理を理解したり、育てる事の  
難しさ、低学年といえども高度な道  
徳観を育てているのだということに  
感じ合い共有しています。それが終  
わる「ちよつと、一杯」と居酒屋へ。  
時には研究会の原案作り、研究会  
の報告など。毎月一回のささやかな  
教師会活動をしています。

お知らせ

第六十回（第一次案）  
日本教師会研究大会案内  
研究主題『深い感性を育む教育』  
主體的な学び・対話的な学び・深  
い学びのある道徳の授業の在り方  
を求めて  
日時 令和二年十二月二十六日  
（土）・二十七日（日）  
場所 ホテルアウィーナ大阪  
記念講演 交渉中  
実践報告者  
小学校 溝口 哲志 先生  
中学校 藤永 慎吾 先生  
高校・中学 交渉中  
中学校 鈴木 克治 先生

今年はおリ・パラリンピックの  
ため宿泊の確保が難しい事を考慮  
して、十二月になりましたことをご  
理解、ご了承ください。是非参  
加をお願いします。

協賛校名一覧

|               |             |              |              |             |                |
|---------------|-------------|--------------|--------------|-------------|----------------|
| 淀之水学院昇陽高等学校   | 東大阪大学敬愛高等学校 | 興國高等学校       | 履正社高等学校      | 大阪暁光高等学校    | 天満学園太成学院大学高等学校 |
| 早稲田攝陵中学校・高等学校 | 清風中学校・高等学校  | 清風南海中学校・高等学校 | 四天王寺中学校・高等学校 | 香ヶ丘リベルテ高等学校 | P・KIDSスクール     |